

【条例施行規則64条関係 (500 t 以上1000 t 未満排出事業者用)】

(様式第33号) (第64条関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月9日

(宛先) 長野市長 萩原 健司 様

提出者

住 所 東京都江東区新砂1丁目1-1

氏 名 株式会社竹中工務店 東京本店

安全環境部長 清水 亨

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-6810-5114

産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画について、長野市廃棄物の適正な処理の確保に関する条例第79条第1項の規定により提出します。

事業場の名称	株式会社竹中工務店 東京本店
事業場の所在地	東京本店が管轄する長野市内の工事
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日

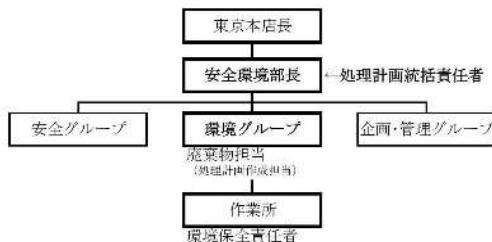
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	430,092,191 (千円) (東京本店管轄 令和6年度完成工事高)
③ 従業員数	2,596 (名) (東京本店内外勤 令和7年5月1日現在)
④ 産業廃棄物の一連の処理工程	別紙2の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

②産業廃棄物管理体制図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	紙くず	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く
排 出 量	1.62t	43.33t	8.94t	18.76t	235.83t	18.48t
産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート、廃アス)	建設混合廃棄物 (安定型、管理)				
排 出 量	582.53t	25.66t				

(これまでに実施した取組)

- ・持ち込む資材等が過剰にならないよう計画をたてる。
- ・工場加工・製作、プレカットを推進する。
- ・パレット利用、ラック式・コンテナ式の採用等省梱包・無梱包を工夫する。
- ・プレハブ化、ユニット化、代替型枠の採用等の工法改善を推進する。

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	紙くず	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く
排 出 量	1.54t	41.16t	8.49t	17.82t	224.04t	17.56t
産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート、廃アス)	建設混合廃棄物 (安定型、管理)	0	0	0	0
排 出 量	553.40t	24.38t				

(今後実施する予定の取組)

- ・持ち込む資材等が過剰にならないよう計画をたてる。
- ・工場加工・製作、プレカットを推進する。
- ・パレット利用、ラック式・コンテナ式の採用等省梱包・無梱包を工夫する。
- ・プレハブ化、ユニット化、代替型枠の採用等の工法改善を推進する。

産業廃棄物の分別に関する事項

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

1.0m³の専用容器（フレコンバック）を設置し、分別を徹底した。

実施品目：コンクリート破片、アスファルトコンクリート破片、廃プラスチック類、金属くず、紙くず、木くず、ガラス陶磁器くず、石膏ボード、可燃物、安定型混合廃棄物、石綿含有建材

①現状

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
引き続き前年度の取り組みを実施する。

②計画

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和 年度）実績】						
産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	紙くず	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート・瓦礫、廃アス)	建設混合廃棄物(安定型、管)	0	0	0	0

①現状

(これまでに実施した取組)

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	紙くず	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート・瓦礫、廃アス)	建設混合廃棄物(安定型、管)	0	0	0	0
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						

②計画

(今後実施する予定の取組)

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和 年度）実績】						
産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	紙くず	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量						
産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート・瓦礫、廃アス)	建設混合廃棄物(安定型、管)	0	0	0	0
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量						

①現状

(これまでに実施した取組)

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	紙くず	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量						
産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート・瓦礫、廃アス)	建設混合廃棄物(安定型、管)	0	0	0	0
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量						

②計画

(今後実施する予定の取組)

【目標】						
②計画	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡 スチロール等)	紙くず	木くず	金属くず
	全処理委託量	1.54t	41.16t	8.49t	17.82t	224.04t
	優良認定処理業者への処理委託量	1.54t	41.16t	8.49t	17.82t	224.04t
	再生利用業者への処理委託量	1.54t	41.16t	8.49t	17.82t	224.04t
	認定熱回収業者への処理委託量					
	認定熱回収業者以外の熱回収を行 う業者へ処理委託量					
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンク リガラ、廃アス ファルト・レンガ)	建設混合廃棄物 (安定型、管理 型)	0	0	0
	全処理委託量	553.40t	24.38t	0.00t	0.00t	0.00t
	優良認定処理業者への処理委託量	553.40t	24.38t			
	再生利用業者への処理委託量	553.40t	24.38t			
	認定熱回収業者への処理委託量					
	認定熱回収業者以外の熱回収を行 う業者へ処理委託量					
(今後実施する予定の取組)						
リサイクル施設へ直送、また精度の高い優良中間処理施設への搬入を一層促進する。						
※事務処理欄						

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が500トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が12以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処理事項		産業廃棄物の種類													
		廃油	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール)	紙くず	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード)	がれき類(コンクリート・陶磁器くず)	建設混合廃棄物(安定型、管理用)	0	0	0	0	合計	
排出抑制に関する事項	前年度排出量(実績)	1.62t	43.33t	8.94t	18.76t	235.83t	18.48t	582.53t	25.66t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	935.15t	
	本年度排出量(計画)	1.54t	41.16t	8.49t	17.82t	224.04t	17.56t	553.40t	24.38t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	888.39t	
自ら行う(行った)再生利用に関する事項	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
	本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
自ら行う(行った)中間処理に関する事項	自ら行う(行った)前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
	自ら行う(行った)熱回収の量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
	自ら中間処理により減量する(した)量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
	自ら行う(行った)埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
処理の委託に関する事項	全処理委託量	前年度実績	1.62t	43.33t	8.94t	18.76t	235.83t	18.48t	582.53t	25.66t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	935.15t
		本年度計画(目標)	1.54t	41.16t	8.49t	17.82t	224.04t	17.56t	553.40t	24.38t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	888.39t
	優良認定処理業者への処理委託量	前年度実績	1.62t	43.33t	8.94t	18.76t	235.83t	18.48t	582.53t	25.66t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	935.15t
		本年度計画(目標)	1.54t	41.16t	8.49t	17.82t	224.04t	17.56t	553.40t	24.38t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	888.39t
	再生利用業者への処理委託量	前年度実績	1.62t	43.33t	8.94t	18.76t	235.83t	18.48t	582.53t	25.66t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	935.15t
		本年度計画(目標)	1.54t	41.16t	8.49t	17.82t	224.04t	17.56t	553.40t	24.38t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	888.39t
	認定熱回収業者への処理委託量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
		本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
		本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t

【記載方法】

- 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績(現状)を、下段に本年度の目標(計画)の産業廃棄物の量を記載してください。
- 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。